

富沢遺跡保存館研究会

「過去を保存すること ～富沢遺跡のこれからを考える」

過去は、さまざまな調査研究を通し、現代を生きる私たちに多くの情報をもたらしてくれます。過去を保存することは現代のみならず、将来世代にとっても意義(価値)をもつものといえるでしょう。保存対象となる過去は、遺跡などのいわゆる文化財だけでなく、人々の日常生活や戦争・震災などのあらゆる時代の人類生活、さらには自然現象も含まれます。

この会では専門家をお招きして、過去を保存するという観点から富沢遺跡を見直す試みです。過去を保存することに関わる、最新の研究成果と考え方についてもお話していただきます。皆さまのご参加をお待ちいたしております。

■期 日 2025年3月16日(日) 13:00～16:00

開会

講演1 「民具を保存することの意義とこれから」

川邊 咲子 先生 (国立歴史民俗博物館 特任助教)

講演2 「文化遺産のデジタル保全の意義とこれから」

田村 光平 先生 (東北大学東北アジア研究センター 准教授)

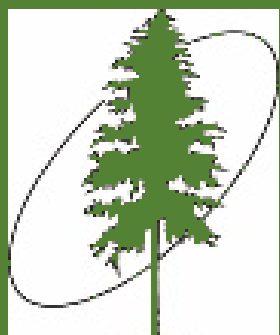
意見交換／質疑応答

閉会

■定 員 40名程度【先着順(事前申込不要)、当日12:30より会場にて受け付けします】

■会 場 地底の森ミュージアム研修室

■参加費 無料(入館料が必要です)



(公財) 仙台市市民文化事業団
地底の森ミュージアム
(仙台市富沢遺跡保存館)

〒982-0012 宮城県仙台市太白区長町南4-3-1

TEL 022-246-9153



館HP



アクセス情報